

授業科目 オペレーティングシステム

【担当教員名】 近藤 正紀		対象学年	2	対象学科	情報
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 Windows や Mac OS などのオペレーティングシステム (OS) の役割は、裸のままでは扱いにくいハードウェアを抽象化し、より扱いやすい仮想的な計算機としてユーザに見せることにある。現在の OS は様々な概念やその実装技術の集大成となっている。コンピュータの利用形態の変化とともに、OS に求められる諸機能も変化し続けており、古典的な技術と共に最新の技術を知ることが重要である。 本講義では、OS の基礎概念と内部構造について理解を深めることを目標とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 オペレーティングシステムの基本概念について理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	概要				
2	CPU の仮想化 (1)				
3	CPU の仮想化 (2)				
4	並行プロセス (1)				
5	並行プロセス (2)				
6	並行プロセス (3)				
7	主記憶の管理 (1)				
8	主記憶の管理 (2)				
9	主記憶の管理 (3)				
10	主記憶の管理 (4)				
11	仮想記憶 (1)				
12	仮想記憶 (2)				
13	ファイルシステム (1)				
14	ファイルシステム (2)				
15	ユーザーインターフェース				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		オペレーティングシステム	松尾 啓志	森北出版	2005・2,800 円+税
その他の資料					
【評価方法】 試験、課題提出状況、出席状況、受講態度によって総合的に評価する。		【履修上の留意点】 参考図書は随時、講義時に指定する。 シラバスの各回の内容については変更になる可能性があるため、その場合は講義開始時に変更後のシラバスを配布する。			